

# 農大生と農業経営者が マッチング



学生からも様々な質問が飛び交った

地方独立行政  
政法人大阪府  
立環境農林水  
産総合研究所  
農業大学校は  
11月6日、雇  
用就農に向け  
たマッチング  
交流会を実施  
し、農大生16  
人と8者の農  
業経営者・農  
業法人が参加  
この交流会  
は雇用就農を

希望する農大生が経営体の求め  
る人材や在学中に習得すべきこ  
となどを意見交換するために開  
催。  
交流会は第1部で農業会議が  
インターンシップ研修や雇用就  
農資金など雇用に向けて活用可  
能な制度を、8経営体が各社の  
経営概要を説明した。  
第2部は学生5人、2、3の  
経営体3班に分かれて班ごとに  
30分で意見交換し、その後、学  
生が次の班に移動する形で全班  
との経営体と意見交換した。  
経営体からは、「農業は栽培

だけでなく、色々な仕事がある。  
常に好奇心を持って作業をして  
ほしい」「次の作業を見据えて  
段取りを考えることが重要。作  
業がシステム化された会社でア  
ルバイトすることも就農に役立  
つ」「お客さんとの意思疎通の  
ために高いコミュニケーション  
能力が必要」などの意見があっ  
た。  
一方、学生から「農大で技術  
は学ぶが、就農して販路をどう  
開拓すればよいか悩んでいる」  
との質問に「まず、よい品物を  
作り、直売所に少量でもいいので

毎日、出荷を続ける。そうする  
とどこから声が掛かり、販路  
が広がる」と答えるなど活発な  
意見交換が行われた。  
意見交換後、農大生、経営体  
は関心のある相手を回答。意向  
が一致すれば11月末以降に農場  
見学や面談を実施する予定。  
また、農大は令和7年度生を  
募集中。願書受付は、2年制の  
総合課程は12月13日(金)、1  
年制の短期実践課程は12月12日  
(木)まで。詳細は電話07  
2・979・7032まで。  
(藤岡)

## 天気のおっちゃんのコラム

気象予報士、元普及指導員  
森田 彰朗

### 第九回

### 「西高東低の 気圧配置」

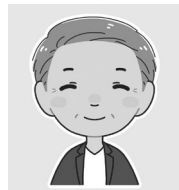
#### 冬の北西風の原因は？

12月に入るといよいよ冬の到来です。今年は夏の高温のせいで、本格的な冬の訪れは遅くなりそうですが、冷たい北西風がまもなく吹き始めます。冬型気

圧配置について解説します。

#### シベリア高気圧から風が吹く

天気図を見てください。大陸の北の方に高気圧があり、北東の太平洋上に低気圧があります。風は大きく見れば、高気圧から低気圧に向かって吹くので、日本列島は北西から東に吹く風の通り道となります。このような気圧配置を「西高東低型」とか「冬型」と呼んでいます。



日本海に  
筋状の雲が  
発生

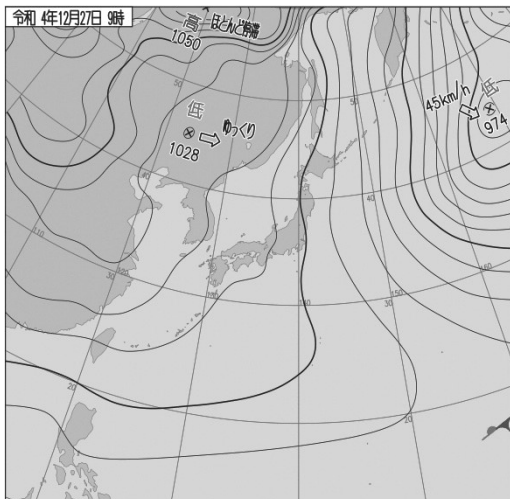
冬のシベリ

アで生まれた冷たく乾いた風は、冬の日本海の上空を通過します。日本海には対馬海流という暖流が流れており、冬でも海水温が高いので、乾いた風に大量の水蒸気を供給し、雲が次々と発生します。こうした雲は風の流れに沿って列を作って次々と並びます。天気予報によく出てくる「筋状の雲」というのはこれのことです。  
この雲が本州中央の山岳地帯にぶつかると、日本海側に大量

### 大阪では山道の凍結に注意

の雪を降らせません。これが北陸や東北の大雪の原因です。

大阪の平野部では、北西の風が強吹いても、雪雲は中国山地などで遮られます。そのため、この気圧配置では、農業被害が出るような積雪はあまり起こりません。しかし、北摂の山間部を中心に、日当たりの悪い山間の道路では、



西高東低の気圧配置(気象庁HPより)

少しの雪が凍結の原因となりますので、夜間や早朝の移動はご注意ください。